

# 藤沢市 令和2年度事務事業評価シート簡易版(令和元年度分)

No. 1

事務事業名	緑地保全事業費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 46 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市有山林等の良好な維持管理及び有効活用を図る。 ・保存樹林・保存樹木・保存生垣(以下「保存樹木等」という。)の指定による緑の保全 ・憩いの森, 市有山林, 緑地の維持管理 ・みどり保全審議会の開催 ・藤沢すみどり保全協働事業の実施						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例, 藤沢市緑の保全奨励金交付規則					
事業実施内容	・保存樹木等の指定及び解除, 並びに奨励金等による助成制度を執行した。 ・憩いの森の賃貸借契約を締結するとともに, 憩いの森内での剪定, 伐採及び下草刈りを行った。 ・藤沢市所有緑地内での剪定, 伐採及び下草刈りを行った。 ・藤沢すみどり保全審議会の開催し, 緑の保全及び緑化の推進に関する施策について必要な事項を調査審議した。 ・市民団体との協働により, 市有緑地内の活動, 普及啓発及び環境調査等を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (株)藤横緑化土木 他 ) (委託内容 : 善行地区下草刈り及び樹木剪定業務委託 他 ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : (特定非営利活動法人)藤沢グリーンスタッフの会 他 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 115,007 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	35,104 千円	保存樹木等奨励金
		役務費	20,882 千円	危険木等伐倒等手数料
		委託料	49,657 千円	市有山林等下草刈業務委託料
		使用料及び賃借料	1,154 千円	憩いの森賃借料等
		その他	8,210 千円	報酬, 旅費, 需用費, 負担金補助及び交付金
財源内訳	R元年度 支出済額 115,007 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	317 千円	
	その他 (みどり基金繰入金 他)	13,886 千円		
	一般財源	100,804 千円		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	令和元年度
正規職員等	3.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	3.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	118,891	116,131	138,385	148,701			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	118,696	116,375	136,028	146,703			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	99,405	97,042	109,453	115,007			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	19,291	19,333	26,575	31,696			
	①職員給与合計(常勤)	18,202	18,438	25,308	29,847			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,089	895	1,267	1,849			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	195	-244	2,357	1,998			
	①減価償却費	259	259	464	464			
	②退職給与引当金繰入額	-64	-503	1,893	1,534			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	279.67	425,105	271.65	427,501	322.34	429,317	343.37	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		支出の大半が維持管理費のため、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）  
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額  
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	現状の一部の樹林地において，良好な維持管理が行き届かない箇所がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	今後は，森林環境譲与税の活用等により，良好な森林環境の構築に向けた樹林地復元管理を行う。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市有緑地の適正な維持管理を実施するとともに，市民が所有する保存樹木等の指定や憩いの森の指定など民有緑地の保全が図られた。	
	事業の方向性	<b>現状維持</b>
今後の方針	今後も市有緑地の良好な維持管理を実施するため，森林環境譲与税等を活用し，生物多様性に寄与した質の高い緑地の管理を実施していく。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
4	市有山林(公園緑地以外の緑地を含む。)の維持管理に関する事	無	無	1	
6	市有山林(公園緑地以外の緑地を含む。)の維持管理に関する事(協働事業に関する事)	無	無	1	1
7	市有山林台帳の整備及び管理に関する事	無	無	1	
8	市有山林等の境界確定及び土地境界証明書の交付	無	無	1	
9	特別緑地保全地区の指定に関する事	無	無	1	3
12	憩いの森の契約に関する事	無	無	1	1
13	憩いの森の賃貸借料の支払いに関する事	無	無	1	1
14	憩いの森の維持管理に関する事	無	無	1	
15	保存樹木等の指定及び解除等に関する事	無	無	1	
16	緑の保全奨励金に関する事	無	無	1	
17	みどり保全審議会の事務局	無	無	1	2
18	松くい虫防除事業の実施及び補助申請手続きに関する事	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------



事務事業名	みどりいっぱい推進事業費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	001	説明	02	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 57 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	みどり豊かな潤いのあるまちづくりを目指して、普及啓発活動を行い、緑化の推進を図る。 ・公共施設等花壇草花植付業務 ・ポスターコンクール等の開催 ・緑と花いっぱい推進の集い開催 ・緑の基本計画及び緑の実施計画の取組						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例					
事業実施内容	・公共施設等花壇草花植付業務(市民会館他14カ所)の実施 ・植栽管理業務委託(藤沢駅南口他10カ所)の実施 ・ポスターコンクール, 学校花だんコンクール, 標語コンクール等の実施 ・第38回藤沢市緑と花いっぱい推進の集いの開催(11月実施), グリーンキャンペーンの開催(10月実施)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : ガーデンサービス(株) 他 ) ( 委託等内容 : 公共施設等花壇草花植付業務 他 ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 負担金 : 藤沢市緑と花いっぱい推進の集い運営委員会 他 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 13,068 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	163 千円	コンクール等記念品
		需用費	1,194 千円	学校花だん用品, 事務用品等
		委託料	5,942 千円	公共施設等花壇草花植付業務委託等
財源内訳	R元年度 支出済額 13,068 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		その他 (みどり基金繰入金)	2,893 千円	
		一般財源	10,175 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	1.00
合計	2.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	28,507	27,220	27,753	27,358			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	28,559	27,622	27,925	27,647			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	11,182	10,212	10,563	11,124			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	17,377	17,410	17,362	16,523			
	①職員給与合計(常勤)	14,562	14,750	14,667	13,712			
	②報酬合計(非常勤)	1,944	1,944	1,944	1,944			
	③退職金相当額	871	716	751	867			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-52	-402	-172	-289			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-52	-402	-172	-289			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	67.06	425,105	63.67	427,501	64.64	429,317	63.17	433,060

成果実績	指標名	藤沢市緑と花いっぱい推進の集いの参加者数	目標	1,050	単位	人	1,000	単位	人	1,050	単位	人	1,100	単位	人
		実績	981	単位	人	891	単位	人	963	単位	人	306	単位	人	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由														
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		29,059.12			30,549.94			28,819.31			89,405.23				

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	「藤沢市」「藤沢市みどりいっぱい市民の会」「藤沢市企業等環境緑化推進協議会」の3者共催により，毎年秋に「藤沢市緑と花いっぱい推進の集い」を開催しているが，ポスターコンクール等の表彰や緑化セミナーなどメニューが多岐にわたるうえ，イベント的要素が加わり，事前準備等が煩雑であることが課題である。
(2)	(1)解決のための今後の取組	緑の普及啓発や市民の緑に対する関心を高め，モチベーションの向上につながるなど，本来の趣旨に沿ったよりよい集いとなるよう見直しを行い，併せて，事前準備等の事務の効率化を図る。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公共施設等の花壇（街路樹柵）に市民と協働で草花の植付を行った。 また，ポスターコンクール等の各種コンクールや，グリーンキャンペーン，「藤沢市緑と花いっぱい推進の集い」を開催し，緑の普及啓発を図った。	
	事業の方向性	実施手法の見直し
今後の方針	「藤沢市緑と花いっぱい推進の集い」については，緑の普及啓発という本来の趣旨に沿い，内容を見直し，事務の効率化を図ったうえで，引き続き，様々なイベント等を通して，緑への関心に繋がる普及啓発活動を行っていく。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	「藤沢市緑の基本計画」の策定（見直し）	無	無	1	3
2	「藤沢市緑の実施計画」の策定（見直し）	無	無	1	3
3	「藤沢市緑の基本計画」及び「藤沢市緑の実施計画」に関する進捗管理	無	無	1	1
19	緑化関連イベント及び緑化推進団体への指導・支援に関すること	無	有	1	3
20	緑化コンクール対応に関すること（建物緑化コンクール除く）	無	無	1	3
41	公金（その他証明閲覧手数料）の取り扱いに関すること	無	無	1	3
47	消耗品等契約課で契約締結する物品の購入の執行	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	長久保都市緑化植物園運営費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	001	説明	03	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民に憩いの場を提供するとともに、都市の緑化推進の拠点としてみどりの相談、講習会、展示会等を開催し、緑化意識の普及啓発に努める。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市都市公園条例, 長久保公園都市緑化植物園管理規則					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>みどりに関する各種講習会, 展示会, 春のみどりと花のまつりの開催</li> <li>市民に向けた苗木配布の実施</li> <li>指定管理者による市民との協働や市内の緑化団体等と連携した管理・運営</li> </ul>						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 指定管理者 : (公財)藤沢市まちづくり協会 ) ( 委託等内容 : 藤沢市長久保公園(長久保公園都市緑化植物園)の管理運営等 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 68,600 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	68,600 千円	指定管理料
財源内訳	R元年度 支出済額 68,600 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	68,600 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.60
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.60

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	75,628	74,718	75,318	74,438			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	74,966	74,869	75,383	74,432			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	69,178	69,069	69,601	68,600			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	5,788	5,800	5,782	5,832			
	①職員給与合計(常勤)	5,461	5,531	5,500	5,485			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	327	269	282	347			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	662	-151	-65	6			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	662	-151	-65	6			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	177.90	425,105	174.78	427,501	175.44	429,317	171.89



成果実績	指標名	市民との協働事業参加人数	目標	—	単位	人	1,400	単位	人	1,430	単位	人	1460	単位	人
	実績			1,377	単位	人	1,618	単位	人	1,592	単位	人	1674	単位	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		平成29年度に「ふじさわ緑の実施計画(第2期計画)」の目標設定にあわせて指標名を変更した。平成28年度は別の指標名のため、目標を設定できない。												
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			54,922.29			46,179.23			47,310.30			44,467.14			

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	開園から約30年が経過し，老朽化した園内施設の修繕が必要である。また，緑化講習会の参加者の多くはリピーターであるため，新規の方が参加しやすいような講習内容や募集方法を検討していく必要がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	指定管理者や公園管理者と調整のうえ，公園施設長寿命化計画に沿って計画的に園内樹木や事務所等施設の整備・修繕を行う。また，増加傾向にある子育て世代を対象とした講習会の実施や情報発信を行う。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	指定管理者である(公財)藤沢市まちづくり協会は，人材や組織育成に関する能力と実績，緑の基本計画に掲げる各種施策の多くを担うことによる事業効果の向上，新規施策への対応等において評価を受けており，各緑化団体から強い信頼を得ている。そのことを本事業に活かしたことにより，各種事業において多くの市民が参加した結果，長久保公園が緑化推進の拠点として大いに活用された。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	長久保公園は「藤沢市緑の基本計画」において「緑をひろめる」「緑とくらす」ための拠点として位置付けられ，今後は「生物多様性の向上」という「緑をつなぐ」ための拠点として新たな市の施策の展開が期待されることから，引き続き，指定管理者と協議し，事業実施に努めることとする。また，市民及び市民団体との協働についても，良好な関係の維持に努める。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
28	指定管理者の運営指導に関すること	無	無	3	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	緑地新設事業費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	001	説明	05	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	市内に残された貴重な緑地としての石川丸山谷戸(石川丸山緑地)及び川名清水谷戸(川名緑地)等の主要な緑地等の保全を行う。																
対象	1. 個人	市民														433,060	人
根拠法令等	法律等	都市緑地法, 神奈川県里地里山の保全, 再生及び活用の促進に関する条例															
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県里地里山の保全, 再生及び活用の促進に関する条例に基づく活動団体への支援の実施</li> <li>・石川丸山緑地内の施設修繕</li> <li>・川名緑地保全事業用地の取得</li> </ul>																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: ) (委託等内容: ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金: 石川丸山ホテル保存会) <input type="checkbox"/> その他 ( )																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 161,875 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	922 千円	緑地内の施設修繕
		役務費	874 千円	用地購入に伴う不動産鑑定
		公有財産購入費	159,882 千円	川名緑地用地購入
		負担金補助及び交付金	197 千円	ホテル保存会への活動補助
財源内訳	R元年度 支出済額 161,875 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	197 千円	
その他 (みどり基金繰入金)	161,678 千円			
		一般財源		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	24,407	22,574	41,047	174,143			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	23,428	22,901	41,488	174,133			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	10,889	10,334	29,367	161,875			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	12,539	12,567	12,121	12,258			
	①職員給与合計(常勤)	11,831	11,985	11,558	11,565			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	708	582	563	693			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	979	-327	-441	10			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	979	-327	-441	10			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	57.41	425,105	52.80	427,501	95.61	429,317	402.12	433,060



成果実績	指標名	—	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	実績	—	実績	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		現状を保全する事業であることから、指標の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		—		—		—		—		—	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）  
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額  
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	川名緑地については，民有地における相続の発生等に伴う土地利用転換の可能性が高いことから，引き続き保全に向け，用地取得を進めることが必要であるが，市街化区域内にあるため，取得時の財源確保が課題である。
(2) (1)解決のための今後の取組	財源としている「みどり基金」と土地公社による先行取得を有効に活用し，予算の平準化を図るとともに，買戻し時には起債等の財源措置の検討を行うなど，円滑な用地取得を図る。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	川名緑地については，相続の発生に伴い申し出があった土地について用地取得を進めており，一定の効果が上がっている。石川丸山緑地については，特別緑地保全地区の都市計画決定に向け，引き続き，課題の整理を進める必要がある。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	川名緑地については，約2/3の用地取得が完了しており，引続き相続に伴う用地取得に努める。石川丸山緑地については，特別緑地保全地区の都市計画決定に向け，引続き課題の整理を行う。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
4	市有山林(公園緑地以外の緑地を含む。)の維持管理に関すること	無	無	1	2
9	特別緑地保全地区の指定に関すること	無	無	1	3
35	里地里山保全等地域の指定及び支援に関すること	無	無	1	1
36	緑地の取得に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	みどり基金積立金										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	003	説明	01	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 60 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市みどり基金の積立						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市みどり基金条例					
事業実施内容	市民等からの寄付金の積立, 基金運用益の積立及び一般会計(ゴミ指定袋売払手数料)からの繰入等						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 78,907 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		積立金	78,790 千円	寄付金の積立及び一般会計からの繰入
		積立利子	117 千円	基金運用益の積立
財源内訳	R元年度 支出済額 78,907 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (みどり基金利子 収入, 寄付金)	9,947 千円			
一般財源	68,960 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度				
行政費用 A	71,294	71,885	74,758	80,853				
(1)現金を伴う支出 (千円)	71,301	71,935	74,780	80,851				
事業費(支出済額-②報酬合計)	69,372	70,001	72,853	78,907				
償還金利子	0	0	0	0				
人件費合計(①+②+③)	1,929	1,934	1,927	1,944				
①職員給与合計(常勤)	1,820	1,844	1,833	1,828				
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0				
③退職金相当額	109	90	94	116				
(2)現金を伴わない支出 (千円)	-7	-50	-22	2				
①減価償却費	0	0	0	0				
②退職給与引当金繰入額	-7	-50	-22	2				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	167.71	425,105	168.15	427,501	174.13	429,317	186.70	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		寄付金のため指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-								

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）  
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額  
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	毎年の積立額は増加しているものの，指定収集袋に係る廃棄物処理手数料相当額による歳入が主であり，みどり基金条例に定める積立額50億円には至っていないことから今後も一層の適正な運用を図ることが課題である。
(2) (1)解決のための今後の取組	今後予定している三大谷戸等での用地取得においては，国・県の補助金の活用を検討し，基金の適正な運用を図る。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	令和元年度については，用地取得を進めたことから，取崩額が積立額を上回った。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後予定している三大谷戸等での用地取得において，基金が必要となるため，国・県の補助金の確保や一層の積立及び適正な運用を図る。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
37	寄附金，収益金及び市の資金の積立	無	無		3
38	寄附金，収益金及び市の資金の振替	無	無		3
39	基金の処分	無	無		3
40	緑化普及啓発に関すること	無	無	1	
41	公金（その他証明閲覧手数料）の取り扱いに関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	緑地改修事業費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	005	説明	01	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	平成 26 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市が所有する緑地や山林の法面の安全性の確認と、法面崩壊による災害を防ぐための対策を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片瀬山五丁目緑地の法面防護工事</li> <li>・江の島緑地の落石対策工事</li> <li>・田村の杜の遊具撤去工事</li> <li>・石川鍛冶山緑地の法面に関する調査委託</li> <li>・川名緑地の法面防護工事に関する設計委託</li> </ul>						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委 託 先 : (株)共和技術コンサルタンツ 他 ) ( 委 託 内 容 : 法面防護工事に係る法面調査 他 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 138,167 千円	事業費節別内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	11,315 千円	法面調査委託, 法面詳細設計委託
		工事請負費	126,852 千円	法面防護工事(片瀬五丁目緑地), 落石対策工事(江の島緑地) 他
財源内訳	R元年度 支出済額 138,167 千円	事業費節別財源内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( 地方債 )	130,000 千円	
		一般財源	8,167 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	202,187	173,306	23,630	152,759			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	200,534	173,683	23,792	152,746			
	事業費(支出済額－②報酬合計)	186,065	159,183	9,337	138,167			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	14,469	14,500	14,455	14,579			
	①職員給与合計(常勤)	13,652	13,829	13,751	13,712			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	817	671	704	867			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,653	-377	-162	13			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,653	-377	-162	13			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	475.62	425.105	405.39	427,501	55.04	429,317	352.74	433,060

成果実績	指標名	法面対策完了箇所数	目標	1	単位 箇所	1	単位 箇所	2	単位 箇所
			実績	1	単位 箇所	1	単位 箇所	2	単位 箇所
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			202,187,000.00	173,306,000.00	-	76,379,500.00			

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	平成26年度に法面対策事業の計画を策定し，対策を順次行っているが，神奈川県が実施している土砂災害特別警戒区域指定の結果によっては，本市の計画を見直す必要が生じる。
(2)	(1)解決のための今後の取組	神奈川県の土砂災害特別警戒区域指定の結果を踏まえて，現状把握を行い，状況に応じて全体計画を精査しながら，事業の進捗管理を行うこととする。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市有山林について調査業務，設計業務を実施し，対策工事の実施に向けた進捗管理を図った。 片瀬山五丁目緑地の法面対策工事及び江の島緑地の落石対策工事を実施し，緑地法面の安全の向上に寄与した。	
	事業の方向性	<b>現状維持</b>
今後の方針	急傾斜地に隣接する住民の安全安心の確保に向けて，適正にスケジュールを管理し，対策工事を実施する。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
4	市有山林（公園緑地以外の緑地を含む。）の維持管理に関すること	無	無	1	
48	工事及び委託の発注に関すること	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	森林環境譲与税基金積立金										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	006	説明	01	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	令和元年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務	
事業概要	藤沢市森林環境譲与税基金の積立						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	森林環境税及び森林環境税に関する法律, 藤沢市森林環境譲与税基金条例 他					
事業実施内容	国から譲与された森林環境譲与税の積立						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 17,077 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		積立金	17,077 千円	森林環境譲与税の積立
財源内訳	R元年度 支出済額 17,077 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	17,077 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政費用 A				19,625
(1)現金を伴う支出 (千円)				19,021
事業費(支出済額-②報酬合計)				17,077
償還金利息				0
人件費合計(①+②+③)				1,944
①職員給与合計(常勤)				1,828
②報酬合計(非常勤)				0
③退職金相当額				116
(2)現金を伴わない支出 (千円)				604
①減価償却費				0
②退職給与引当金繰入額				604
③不納欠損額				0
④その他 ( )				0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)				45.32 433,060



成果実績	指標名	—	目標					—	単位
			実績					—	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		譲与税積立ため指標の設定はできない。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)									

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）  
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額  
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	当基金の使途である，市有山林における樹林地復元管理業務を計画的に進めるため，基金を積み立てる必要があるもの。
(2) (1)解決のための今後の取組	計画的に事業を実施し，着実に基金の積み立てを行う。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市森林環境譲与税基金条例を制定し，令和元年度分の森林環境譲与税を積み立てた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	令和2年度以降の森林環境譲与税についても，着実に基金へ繰り入れ，計画的な事業の実施を行う。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
37	寄附金，収益金及び市の資金の積立	無	無		3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------